

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		北海道こども発達研究センター					公表日	2026年2月27日
	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	ご意見	ご意見に対する返答		
1	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	0	児発・放デイと兼務する形で必要人員を配置している。 常に職員が配置できるよう配慮している。	今後も引き続き児発・放デイと兼務し、常に職員が配置してまいります。		
2	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加しているか。	4	0	0	定期的に関連職員一同で会議等を実施し確認している。 適切に振り返りは職員全員で行っている。	今後も定期的に会議を実施して情報共有を行い、訪問支援を行った日には振り返りを全員で行ってまいります。		
3	保護者向けの評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	0	導入開始前のアンケート調査・定期的な面談等で意向確認を進めている。 適切に機会を設けてる。	今後も導入開始前のアンケート調査・定期的な面談等で意向確認を進めつつ、保護者に向けた評価表を取り入れ、全員で業務改善に務めてまいります。		
4	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	0	定期的に関連職員一同で会議等を実施し確認している。 定期的に職員同士で意見交換する機会を設けてる。	今後も定期的に会議を実施して情報共有を行い、意見交換を行ってまいります。		
5	保護者向け評価表を活用することにより、アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか。	4	0	0	導入開始前のアンケート調査・定期的な面談等で意向確認を進めている。 毎年適切にアンケートを実施している。	今後も導入開始前のアンケート調査・定期的な面談等で意向確認を進めつつ、保護者に向けた評価表を取り入れ、全員で業務改善に務めてまいります。		

6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	0	法人研修のプログラムとしても用意されている。 対外研修や社内研修を適切に実施している。	保育所等訪問支援に対する法人内プログラムを用意したり、対外研修に参加する機会を設けて職員の資質向上に務めてまいります。
7	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	0	児発・放デイの支援方針と並行して状況共有を行ったうえでアセスメントの実施と支援計画立案に努めている。 児童の希望等を聴取して支援に設けている。	今後も個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析して保育所等訪問支援計画書を作成してまいります。
8	保育所等訪問支援計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	0	児発・放デイと同様に支援会議を開催して支援方針・内容を決定している。 適切に検討できている。	今後も児発・放デイと同様に支援会議を開催して支援方針・内容を決定してまいります。
9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担当等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	0	訪問時や訪問時以外でも情報共有を行う場を設けて、意向の確認と支援計画への反映に努めている。 担任の先生を中心に情報共有している。	今後も訪問先の担当者様と連携を図って意向を盛り込み保育所等訪問支援計画書の作成を行ってまいります。
10	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	0	児発・放デイと同様に支援会議を開催して支援方針・内容を決定している。 計画に沿った支援を行っている。	支援会議を開催して支援方針・内容を決定してまいります。
11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	0	標準化されたアセスメントシート・記録シートを用いて実施している。 アセスメントシートは標準化されている。	今後も標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用して子どもの適応行動の状況を確認出来るよう務めてまいります。
12	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	0	ガイドラインに基づき、支援記録より具体的な内容を発信・助言させていただいている。 具体的な支援が設定されている。	今後もガイドラインに基づき、具体的な支援が設定したり、支援記録等で支援内容を発信・助言させていただきます。
13	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	0	日々の訪問毎に、訪問時の様子や支援内容について振り返りを行い共有している。 職員全員で情報を共有している。	今後も訪問支援を行った日には振り返りを全員で行い、情報共有をさせていただきます。

14	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	0	訪問先の支援手法を主軸に間接支援として、児童の対応方法・支援方法について内容をお伝えしている。 尊重している。	今後も間接支援として訪問先の支援手法を尊重しながら支援をさせていただきます。
15	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	0	日々訪問毎に観察事項と支援内容を記録としてまとめ、訪問先・ご家族に公開している。 毎回適切に記録を取っている。	今後も観察事項や支援等を適切に記録を取ることを徹底し、訪問先には書面、保護者様にはHUGにて公開させていただきます。
16	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適正な見直しを行っているか。	4	0	0	児発。放デイと同様に定期的に面談を実施しモニタリング・アセスメントを実施している。 面談で家族とモニタリングを行っている。	定期的に保護者様や訪問先の担当者様にモニタリング・アセスメントを実施し、保育所等訪問支援計画書の見直しを行ってまいります。
17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか。	4	0	0	訪問担当者・児童発達支援管理責任者など経験のある職員が参画している。 必要に応じて参画している。	訪問担当者や児童発達支援管理責任者等経験のある職員が障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に参加し、子どもの様子の情報共有に務めてまいります。
18	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	0	必要に応じて関係機関との連携・支援を実施できる体制を整えている。 整っている。	今後も必要に応じて関係機関との連携・支援を実施できる体制を整え、情報共有を行ってまいります。
19	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への積極的に参加しているか。	4	0	0	開催の案内に合わせて法人職員が参加している。 定期的に参加している。	今後も開催の案内に合わせて参加していきます。
20	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	0	訪問毎の支援記録の公開に合わせて、送迎時にお会いした際や公式LINE等で情報を共有している。 毎回記録を家族に公開している。	今後もHUGで訪問時の子どもの様子や支援の内容だけでなく、送迎時やLINE等で共通理解をしていけるよう努めてまいります。
21	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	0	契約書類等に必要な項目の記載と説明を行っている。 説明している。	契約書類等に必要な項目の記載と説明を行っていますが引き続き行ってまいります。

22	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適当に説明を行っているか。	4	0	0	実施前にはお電話または訪問にて趣旨・目的を説明し同意を得たうえで訪問を開始している。 適切に説明している。	実施前には趣旨や支援の目的を説明し、同意を得たうえで訪問を開始しておりますが、正しい理解を得ることが出来るよう定期的に説明を行ってまいります。
23	保育所等訪問支援計画はこどもや保護者のご意見を踏まえて作成されているか。	4	0	0	事前のアンケートやアセスメントにて意向を確認したうえで訪問支援計画の立案および訪問を実施している。 保護者の意向を踏まえている。	今後も保護者様やお子様のご意見を聞き取って盛り込み保育所等訪問支援計画書の作成を行ってまいります。
24	わかりやすい「保育所等訪問支援計画」を作成し、保護者から同意を得ているか。	4	0	0	分かり易い表記・説明を心がけ、同意を得ている。	保育所等訪問支援計画書を作成する際にはわかりやすい言葉を選択する等表記や説明を心掛けて作成して保護者様から同意をいただいておりますが、今後もわかりやすい保育所等訪問支援計画書を作成してまいります。
25	定期的に、家族等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	0	定期的に面談機会を設けるほか、必要性に応じて別途話し合いや情報共有する場を設けている。 適切に応じている。	定期的な面談の他、必要性に応じてお悩みをお聞きする機会を作ったり、LINEやHUGの「保護者との連絡事項」の欄を使用してお聞きしています。
26	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	0	留意している。	十分に留意して行っておりますが、引き続き留意して支援させていただきます。
27	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な話し合いや助言・支援を行っているか。	4	0	0	こちらからの一方的な情報発信にならないよう、相互的な意見交換を行う場を設けている。 相談。助言を行っている。	相互的な状況共有や意見交換を行うことが出来るよう場を設定させていただいておりますが、必要な話し合いや助言が行うことが出来るよう場の設定をさせていただけるよう働きかけていきます。

28	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4	0	0	児発・放デイと同様に事業所の規定に基づき実施している。 職員全員で共有している。	必要があった際には事業所の規定に基づき実施しておりますが、今後もヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討してまいります。
29	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか。	4	0	0	児発・放デイと同様に事業所の規定に基づき実施している。 適切な対応をしている。	児発・放デイと同様に事業所の規定に基づいて適切に実施しております。今後も引き続き研修機会を確保する等の適切な対応を心がけてまいります。
30	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで、支援計画に記載していますか。	4	0	0	児発・放デイと同様に事業所の規定に基づき実施している。 説明している。	児発・放デイと同様に事業所の規定に基づいて適切に実施しております。今後も必要があった際にはお子様や保護者様の了解を得た上で支援計画書に記載してまいります。